

【基本介護技術習得確認チェックシート】について

～大妻女子大学 人間関係学部 是枝祥子教授からの推薦文～

介護職で重要なのは、適切に利用者に介護が提供できるということです。介護は基本介護技術がベースにあって、利用者の個別の状態や状況に合わせて対応します。この応用力が重要なのです。もちろん、同時に知識や理論が重なっています。

基本介護技術の習得は不可欠なのですが、限られた時間内で習得することは容易ではありません。一つひとつの技術をどのように行うのか、それはなぜなのかを理解しながら行うのですが、目の前で行っている実技は理解できていても、実際自分で行ってみると、形は同じようでも、どこがポイントなのかがわからないで過ぎてしまいがちです。また、繰り返し行わないと習得できないまま、見よう見まねの動作となり、不安を抱え実践の場に出ていることも多々あります。

これらを解消できるのが、この「基本介護技術習得確認チェックシート」です。自分がどのくらい、介護技術を習得できたか、自分で評価でき、また他者評価で自分では気づかない部分があり、何度でも自分の技術を確認しながら力をつけることができます。

さらに、個人評価表（レーダーグラフ）では、習得度を点数化しグラフにすることで視覚により自分の得意分野や弱点を把握でき、どの部分を補強すればよいかがあり、効率的に介護技術を習得できます。

こうした自己学習を続けることで、介護することに自信が持て、安心して利用者にかかわることができるでしょう。仕事や生活の時間が不規則であっても、自分で工夫して時間を作り、ポイントが明確なので、繰り返し行うことでより確かなものになるでしょう。わかりやすく、すぐに活用でき、基本介護技術の習得状況が確認できるチェックシートとして推薦いたします。

（平成22年11月）



是枝 祥子（これえだ さちこ）先生

特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター、ヘルパーステーションなどの勤務経験をもつ。著書に『介護職のための根拠に基づいた記録の書き方』『これからの訪問介護と施設介護の視点』など。